

1 日 時 令和6年10月23日（水） 第5校時

2 年 次 第1年次

3 科 目 英語コミュニケーションⅠ

4 単元名〔教科書名〕 Lesson 7 To Stop Plastic Pollution

[Creative English Communication I (第一学習社)]

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、世界規模の環境問題である海洋プラスチック汚染についてまとめられている論説文である。プラスチック汚染の原因、それがもたらす問題点、その対策について分かりやすく説明されているため、読んだり聞いたりしたことに基づいて、自分の考えなどを理由と例とともに論理性に注意して、相手に伝えることを指導するのに適した題材である。

そのため、本単元の内容と日本でのプラスチック汚染の現状を踏まえ、実践したいプラスチック汚染の対策について、理由と例とともに論理性に注意して、話して伝えることを目標とする。本単元の目標は、高等学校学習指導要領外国語「英語コミュニケーションⅠ」の「1目標」の「(4) 話すこと〔発表〕」の「イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。」に基づいて設定した。

(2) 生徒観

2学期始めに実施したアンケートでは、「英語は好きか」という質問に対して、約6割の生徒が否定的な回答であった。理由として、「内容が難しい」、「覚えることが多い」という意見が多く、英語に対する苦手意識が強いと言える。しかし、生徒の授業における学習活動に取り組む様子などから、2学期当初と比べ、英語力を向上させたいという意欲の高まりが見られる。「読むこと」については、基本的な情報を教科書から読み取ることができるが、生徒によって読むスピードが異なっている。また、「話すこと」については、トピックに対して自分が知っている単語やディスコースマーカーを用いて話そうとしているが、文で伝えることに苦労している。さらに、理由を述べずに考えのみを伝えて話すことをやめてしまったり、伝えたい理由をどう英語で表現するか分からなかったりするなど、まとまりのある文章で表現することに課題がある。

(3) 指導観

指導に当たっては、次のような工夫をする。

- ・内容理解の際に、段落ごとの要点と、要点を支える情報又は結果と原因の関係について理解させる。
- ・パートごとにキーワードをもとに本文の内容を伝えるリプロダクションを行わせ、理解した内容を自分の言葉で相手に伝えることに慣れさせる。
- ・関連するトピックを用いて、自分の考えを理由と例とともに話す活動を設定する。
- ・ペアやグループ内での発表を行い、自分の考えを理由と例とともに話すことができたかどうか、ピアチェックできるようワークシートを工夫する。
- ・Small Talkを通して、英語を話すことに慣れさせるとともに、自分の考えを理由とともに伝えるために必要な表現を身に付けさせる。

6 CAN-DO リスト形式による学習到達目標との関わり

本単元で育成したい力は、本校の「CAN-DO リスト」の形式での学習到達目標の「話すこと〔発表〕」の中にある「事物に関する紹介や対話など聞いたり読んだりしたことにに対して、簡単な文で自分の意見を述べるができる。」に基づいている。

7 単元の見目標

社会的な話題（海洋プラスチック汚染対策）について、聞いたり読んだりしたことを活用し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを理由と例とともに話して伝えることができる。

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 自分の考えを理由と例とともに話して伝えるための語彙や表現を理解している。 〈技能〉 自分の考えを理由と例とともに話して伝えるための語彙や表現を身に付けている。	相手に自分の考えが伝わるように、プラスチック汚染対策について、理由と例とともに話して伝えている。	相手に自分の考えが伝わるように、プラスチック汚染対策について、理由と例とともに話して伝えようとしている。

9 指導計画（全8時間）

時	■本時の目標 ・学習活動	評価			
		知	思	態	評価方法
1	■単元の見目標を理解し、課題に対する理解を深める。 ■単元の見テーマについて理解する。 ○Part 1 ・新出語句 ・Comprehension（Part 1） ・音読（Part 1）	一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、目標に則して生徒の活動の状況を見取って指導に生かすことは毎時間行う。			
2	■海洋プラスチック汚染のメカニズムについて理解する。 ■論理的な文章の構成を本文を基に理解し、理解したことを踏まえて本文の内容や自分の考えを論理性に注意して話して伝える。 ○Part 2 ・Small Talk① ・リプロダクション（Part 1） ・新出語句 ・Comprehension（Part 2） ・音読（Part 2）				
3 本時	■プラスチックと他の材質のものを比較し、どちらがよいかについて、自分の考えを、理由と例とともに論理性に注意して話して伝える。 ○Part 2 ・前時の復習（Part 2 内容確認） ・リプロダクション（Part 2） ・話す活動（発表）				
4	■プラスチック汚染が生物に与える影響と具体例を読み取り、関連する話題に対する自分の考えを、理由と例とともに論理性に注意して話して伝える。				

	○Part 3 ・ Small Talk② ・ 新出語句 ・ Comprehension (Part 3) ・ 音読 (Part 3)				
5	■プラスチック汚染の問題の解決策について考えや理由、例を本文から読み取り、読み取ったことを論理性に注意して話して伝える。 ○Part 3 / 4 ・ リプロダクション (Part 3) ・ 新出語句 ・ Comprehension (Part 4) ・ 音読 (Part 4)				
6	■プラスチック汚染について理解したことを踏まえて、自分の考えを理由と例とともに論理性に注意して話して伝える。 ○Part 4 ・ Small Talk③ ・ リプロダクション (Part 4) ・ Additional Reading				
7	■実践したいプラスチック汚染の対策について、理由と例とともに論理性に注意して、話して伝える。 ○発表準備 ・ プレゼンテーション原稿作成 ・ 発表練習				
8	■実践したいプラスチック汚染の対策について、理由と例とともに論理性に注意して、話して伝える。 ○発表・まとめ ・ グループ内発表	○	○	○	観察 ワークシート

10 本時の展開

(1) 本時の目標

プラスチックと他の材質のものを比較し、どちらがよいかについて、自分の考えを、理由と例とともに論理性に注意して相手に伝えることができる。

(2) 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	相手に自分の考えが伝わるように、自分の考えを理由と例とともに相手に話して伝えている。	相手に自分の考えが伝わるように、自分の考えを理由と例とともに相手に話して伝えようとしている。

(3) 本時の学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 [観点] (評価方法)
導入 (2分)	1 本時の目標の確認 本時の目標 プラスチックと他の材質のものを比較し、どちらがよいかについて、自分の考えを、理由と例とともに論理性に注意して相手に伝えることができる。		
展開 (45分)	2 前時の復習 ・Part 2の要点と例を復習する。 3 リプロダクション ・リプロダクションをペアで2回行う。 4 話す活動(発表) ・プラスチックと他の材質のものを比較し、どちらがよいかについて、自分の考えを、理由と例とともに相手に伝える。	◇ペア、全体で前時の内容を確認する。 ◆活動が止まっているペアに前時の授業のヒントを与える。 ◇リプロダクションの見本を示す。 ◇Part 2を、要点と例を伝えることに注意して話させる。 ・ペアで交互に行わせる。その後、ペアを変えて行い、合計2回実施させる。 ◆リプロダクションを行う際の型を使って話させる。 ◇ピアチェックを行わせる。 ・評価シートを用いて、要点と例を説明できていたかペアで確認させる。 ・1回ごとに、ペアでフィードバックを行わせた後、フィードバックを受けてどのように改善すべきか考えさせる時間を設ける。 ◆ペア活動の様子を確認しながら、活動が止まっているペアにヒントを与えながら活動させる。 ◇紙ストローと比較し、プラスチックストローの良い点を生徒に考えさせ、全体で意見を共有する。 (予想される意見：プラスチックストローの方が破れにくい。紙ストローのような味がしない。等) ◆意見が出にくい場合は、プラスチックストローのメリットを提示する。 ◇プラスチックストローと紙ストローを比較し、どちらの方がよいかについて自分の考えを英語で考えさせる。 ◇考え、理由、例の順で伝えるように指導する。 ◆活動が止まっている生徒には、話すための型を活用させる。	

		◆発表する際に有効な語を提示する。 ◇ペアで発表させる。 ・ペアで交互に行わせる。 ・評価シートを用いて、考え、理由、例が説明できていたかを確認させる。	相手に自分の考えが伝わるように、自分の考えを理由と例とともに相手に話して伝えている。 [思考・判断・表現] (観察) 相手に自分の考えが伝わるように、自分の考えを理由と例とともに相手に話して伝えようとしている。 [主体的に学習に取り組む態度] (観察)
生徒の活動例 I like plastic straws better than paper straws because they are stronger. For example, when I put paper straws in drink for a while, they can easily break unlike plastic straws. I like paper straws better than plastic straws because they are more eco-friendly for the ocean. For example, paper straws can more easily break down in the ocean than plastic straws.			
まとめ (3分)	5 本時のまとめ	◇本時の学習のポイントを確認する。 ◇発表した内容をワークシートに書くことを課題とし、次回の授業で提出させる。 ・後日、生徒の作品を基に、フィードバックを行う。	

11 単元末パフォーマンステスト

(1) 発表

あなたは、プラスチック汚染を防ぐためにはどのような取組を行っていくべきかについて、自分の考えを英語で発表することになりました。相手に自分の考えが伝わるように、その取組について、理由と例とともに自分の考えを話して伝えなさい。

(2) ルーブリック（具体的な評価基準）

条件1：話題に関連した自分の考えを明確に話して伝えている。

条件2：なぜその取組をしていくべきか理由を話して伝えている。

条件3：自分の考えを支える例（自身の経験、見聞きしたこと、理由に対する具体例など）を一つ挙げて話して伝えている。

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現を適切に使用し、文で話して伝えている。	条件1・2を満たした上で、条件3の自分の考えを支える例を二つ以上いれて、詳しく話して伝えている。	条件1・2を満たした上で、条件3の自分の考えを支える例を二つ以上いれて、詳しく話して伝えようとしている。
b	語彙や表現に多少の誤りがあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って文で話して伝えている。	3つの条件を満たして話して伝えている。	3つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

(3) 具体的な発表例

評価	a（十分満足）	b（おおむね満足）	c（努力を要する）
例	<u>I think we should stop using single-use plastics as much as possible because I believe using single-use plastics is worse than using reusable plastics for plastic pollution. I think it is difficult to stop using all plastic products, and we can use some of them, such as bike helmets and plastic pencil cases, many times. On the other hand, we can use single-use plastics only once, so we should try not to use them as much as we can. For example, we can keep food in food containers instead of plastic wrap. This is why we should stop using single-use plastics as much as we can.</u> (106 words)	<u>I think we should stop using single-use plastics as much as possible because I believe using single-use plastics is worse than using reusable plastics for plastic pollution. We can use single-use plastics only once unlike reusable plastic products, so we should try not to use them as much as we can. For example, we can keep food in food containers instead of plastic wrap.</u> (64 words)	<u>I think we should stop using single-use plastics as much as possible. Also, we should clean the ocean to stop plastic pollution.</u> (22 words)

条件1 条件2 条件3